

## 営業の概況（2021年度中間連結会計期間）【連結】

経常収益は、外貨貸出金利息が減少したものの、有価証券売却益の増加により、前年同期比30億96百万円（5.3%）増収の605億94百万円となりました。経常利益については、外貨調達コストや与信費用の減少により、前年同期比32億33百万円（27.0%）増益の152億円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比19億53百万円（23.7%）増益の101億79百万円となりました。

セグメントごとの業績は下記のとおりです。

〔銀行業〕

経常収益は、前述のとおり、外貨貸出金利息が減少したものの、有価証券売却益の増加により、前年同期比27億21百万円（5.5%）増収の518億69百万円となりました。経常利益は、有価証券売却損が増加したものの、経常収益の増加に加え、外貨調達コストや与信費用の減少により、前年同期比32億37百万円（29.1%）増益の143億48百万円となりました。

〔リース業〕

経常収益は、リース売上高の増加により、前年同期比1億64百万円（2.5%）増収の65億34百万円となりました。一方で、経常利益は、与信コストの増加により、前年同期比4億22百万円（94.6%）減益の24百万円となりました。

〔証券業〕

経常収益は、コロナショック後の相場持ち直しによる販売額の回復を主因に、前年同期比5億59百万円（45.5%）増収の17億85百万円となりました。経常利益は、前年同期比3億75百万円改善し、3億20百万円となりました。

〔その他〕

経常収益は、銀行事務受託業務における受託内容の見直しなどから、前年同期比63百万円（2.2%）減収の26億77百万円となりました。経常利益は、信用保証業における与信コストの減少により、前年同期比1億56百万円（16.2%）増益の11億14百万円となりました。

## 主要な経営指標の推移【連結】

(単位:百万円)

項目	期別	2019年度 中間連結会計期間	2020年度 中間連結会計期間	2021年度 中間連結会計期間	2019年度	2020年度
経常収益		63,780	57,498	60,594	127,318	116,301
うち信託報酬		0	0	0	1	0
経常利益		12,943	11,967	15,200	17,463	21,252
親会社株主に帰属する中間純利益		8,644	8,226	10,179	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益		—	—	—	11,916	14,418
中間包括利益		15,450	28,706	18,184	—	—
包括利益		—	—	—	△21,919	55,104
純資産額		550,615	537,849	576,808	511,193	562,197
総資産額		8,387,024	8,772,702	9,885,477	8,147,386	9,153,162
総自己資本比率 (国際統一基準)		13.62%	13.02%	13.83%	13.04%	13.44%
うち普通株式等Tier1比率		13.61%	13.02%	13.58%	13.04%	13.20%

(注) 2020年度中間連結会計期間及び2020年度において「その他経常収益」に計上しておりました保険の受取配当金の一部については、2021年度中間連結会計期間より「役員取引等費用」から控除しており、2020年度中間連結会計期間及び2020年度の計数の組替を行っております。